

学ぶとは。考えるとは。

## Handai-Asahi 中之島塾

朝日カルチャーセンターとの共同講座。入会金は不要です。大阪大学の第4キャンパス、大阪大学中之島センターで開講します。知識を吸収しながら問題を発見し考察する力も養えます。

- 会場／大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）
- 定員／各講座によります。随時受付中ですのでお問い合わせください。
- 申込先・問合せ先／朝日カルチャーセンター
- TEL.06-6222-5224
- ※1～3月の講座は11月22日から申込受付を開始します。
- 主催／大阪大学 21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

### ●日本の伝統文化、能狂言に親しむ

中尾 薫（大阪大学大学院文学研究科准教授）  
10月27日（日）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された伝統演劇「能狂言」には、長い歴史と文化、普遍的な美意識や喜怒哀楽などの心が凝縮されています。しかし、なぜ能は難しく、わかりにくいと思う人が多いのでしょうか？講義では、能狂言を敬遠する歴史とその背景（原因）をひもときながら、能狂言の特徴や魅力を考えてみたいと思います。

### ●長期志向・短期志向の違いから見る貿易戦争

堀井 亮（大阪大学社会経済研究所教授）  
11月10日（日）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

日本人や中国人は、将来や老後のことを心配して、節約や貯蓄が大事だと思う傾向があります。一方、アメリカ人は今を充実して生きることを比較的重視します。このように国によって、長期志向・短期志向の考え方の違いがあります。ところが短期志向の国は、たくさん消費するので、貿易赤字となり、借金（対外債務）がかさみます。この講義では、長期志向・短期志向の違いが最近の日本貿易戦争や、かつての日米貿易摩擦の要因になっているという最近の研究を解説します。

### ●認知症医療の過去、現在、未来

橋本 衛（大阪大学大学院連合小児発達学研究所准教授）  
11月23日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

近年の急速な高齢化の進展により、認知症は本邦における重大な社会問題となっています。認知症に対する研究や医療は目覚ましい進歩を遂げていますが、残念ながら認知症を根治させる薬はいまだ開発されておらず、認知症の人は年々増えています。このような状況に対して我々は何をすれば良いのでしょうか。そもそも何ができるのでしょうか。この問いに対して、過去、現在の認知症医療を概観しつつ、未来の認知症医療を考えていきたいと思えます。

### ●ミャンマーのいまを歴史的に考える ～アウンサンスーチーとロヒンギャ問題

池田 一人（大阪大学大学院言語文化研究科准教授）  
12月7日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

ミャンマー（ビルマ）では 2010 年に軍政が自己民主化を始め、2016 年にアウンサンスーチー政権が樹立されました。ミャンマー研究者の誰も予想できなかった政治展開です。同時に国際社会は、ノーベル平和賞受賞者のスーチー氏がロヒンギャ問題でかくも保守的な対応を取るとは予想しませんでした。ミャンマーではいま、どんな変化が訪れているのでしょうか。その「双子の問題」—民主化問題と民族問題—を歴史的に考えてみたいと思えます。

### ●臓器移植はなぜ社会の問題となるのか？：医療人類学の考え方

山崎 吾郎（大阪大学 CO デザインセンター准教授）  
12月7日（土）13:30～15:00  
受講料 1,650 円

新しい技術は、ときに私たちの価値観、生命観、さらには社会のあり方そのものを変化させます。臓器移植医療は、そうした社会と先端技術の関係を考える上での格好のケーススタディといえるでしょう。「脳死」は人の死なのか、臓器は商品なのか、文化の違いは関係あるのか…。医療人類学の研究を紹介しながら、この医療についてなされてきた数々の争点について、一緒に考えてみたいと思えます。

### ●大阪弁ぼちぼち講座—「知らんけど」の秘密

金水 敏（大阪大学大学院文学研究科教授）  
1月25日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

大阪人・関西人の話し方には、単に大阪弁・関西弁を話すという以上に、独特の話し方の特徴というべきものがあります。例えば、オノマトペの多用、「ぼけ」「つっこみ」の応酬、「落ち」への強い執着、よく知らないことでも喋ってしまう、とりあえず「知らんけど」と言い添える癖など。日本国内の他地域と比較しても、きわめて特異といえるこのような言語文化や、そこに通底する大阪人・関西人のコミュニケーション哲学は、いったいどのように形成されたのでしょうか。

### ●老年行動学からみた認知症

佐藤 眞一（大阪大学大学院人間科学研究所教授）  
2月1日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

認知症は多くの中高齢の人々が恐れている病気ですが、周囲のことが何ともわからなくなる。家族や周囲の人たちに迷惑をかけるなど、漠然としたイメージが先行しています。認知症の人の不可解な行動には理由があります。その理由を知ることで介護は楽になりますし、認知症のご本人も幸せに暮らすことができます。今回の講座では、私たちの研究を紹介しながら、認知症の人の不可解な行動の背後にある心の世界について考えます。



WEBからも申し込みます。  
Handai-Asahi 中之島塾 検索



### ●うつの人を支える人のために ～どうかあなたが追い詰められてしまいませんように。

根岸 和政（大阪大学大学院工学研究科講師）  
2月15日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

うつに苦しむ方への支援・援助の方法は、ある程度確立しているように思えます。しかし、うつの人を支えることは、とても労力が必要とします。支え手となる私たちが疲弊してしまい共倒れになってしまったら、元も子もなくなってしまいます。うつを人の支え手として大切なことは何か。それは、支え手となる私たち自身の心の健康なのです。本講座では、私たちの心の健康維持・増進についてご紹介させていただきます。

### ●日本人の肥満・メタボ研究と医療、30年

下村 伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科教授）  
3月5日（木）13:00～14:30  
受講料 1,650 円

私は、30年にわたって肥満・メタボに関わる仕事をしてきました。内臓脂肪型肥満・皮下脂肪型肥満、メタボリックシンドローム、アディポサイトカイン概念（全身の中で脂肪がたくさんのホルモンを作ること）、また長寿ホルモンと呼ばれるようになったアディポネクチンの発見・医療展開など、先輩・同僚・後輩たちと多くの仕事に携わっていただきました。この講座では、それらの軌跡と現状の理解、そして未来への展望を考えたいと思えます。

### ●豊臣秀吉と天皇

野村 玄（大阪大学大学院文学研究科准教授）  
3月14日（土）10:30～12:00  
受講料 1,650 円

周知のように豊臣秀吉は関白として諸大名を服属させました。なぜ秀吉が將軍職ではなく関白職を選択したのかについては諸説ありますが、秀吉による関白職の選択は、同時に秀吉が天皇への接近を選択したことをも意味します。なぜ秀吉は天皇に近づいたのでしょうか。尊崇や政治的利用などといった形式的説明では理解できない側面が多くあります。天皇とは何かという問題について、豊臣期を中心に考えられたらと思えます。

あたりまえをゆさぶる、新しい問いを立てよ。

## 超学校 大阪大学×ナレッジキャピタル

知的創造・交流の場ナレッジキャピタルで開講します。仕切りを取り払ったオープンなカフェの一角で、ドリンク片手にカジュアルな気分で、大阪大学の研究者のアツいトークをお楽しみください。

### 令和の時代の“天寿”を考える

久坂 部 羊（大阪大学大学院医学系研究科招へい教授、小説家、医師）

11月14日（木）19:00～20:30  
参加費 500 円（1drink 付）

「人生 100 年時代」と言われていますが、当然ながら元気まま 100 歳まで生きる人はごく少数。寝たきり、認知症、胃ろう、導尿、呼吸困難…。恐ろしい長寿を避けるためには、長生きのリアルを知っておく必要があります。平成は「命は長らえさせるべき」という方針で、医療が悲惨な状況を作り出した時代です。令和の医療は、必ず訪れる死をいかに上手に受け入れるかがテーマになるでしょう。みなさん、ご準備はよろしいでしょうか？

申込フォームはこちらから。  
ナレッジキャピタル 超学校 検索

### 新しい価値を生む方法論としての Foresight Creation

松波 晴人（大阪大学共創機構産学共創・渉外本部 特任教授、大阪ガス行動観察研究所所長）

11月20日（水）19:00～20:30  
参加費 500 円（1drink 付）

イノベーションが求められる中、新価値創造の様々な方法論が提唱されていますが、この分野における理論とメソッドはまだ確立されているとはいえません。大阪ガス行動観察研究所は、これまでの実績を踏まえ、行動観察やクリエイティブシンキングを元に「新価値創造の方法論」の理論とメソッドを構築し、Foresight Creation と名付けました。必要とされる能力を「8つの玉」になぞらえ、それぞれの「玉」を育成する方法論を開発し、大阪大学で学生対象の Foresight School で実践した結果、1) 新たな価値を生み消しゴムの商品化、2)

参加費は無料  
飲食代は各自

気軽にしゃべりサイエンス♪

## Science café @ 大阪大学歯学部附属病院

毎回、話題提供者が様々な大学の研究についてお話しします。専門的な知識なんていりません。必要なのは、好奇心と、ゆっくりしゃべりを楽しみむ気持ち。おいしい飲み物とお菓子をお供に、夕方のひとときを一緒に楽しみましょう。

### 【第10回】お口の中のがんの話

鶴澤 成一（大阪大学大学院歯学研究科教授）

12月6日（金）16:30～18:00

お口の中にも“がん”ができることはご存知でしょうか？お口は食べ物をかみ砕いたり、飲み込んだり、言葉を発したりとても大事な機能を営んでいます。ここに“がん”が生じってしまうとこれらの機能が大幅に障害されてしまいます。お口の中がひりひりするとか、入れ歯が合わなくて困ったことはありませんか？今回は、皆さんが自らお口の中の変化をチェックする方法や口腔がんになってしまった時の対処法などについてお話させていただきます。

### 【第11回】好き嫌いの理由は科学で分かるのか？

八十島 安伸（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

12月12日（木）16:30～18:00

食べ物への好き嫌いは個人で千差万別です。とはいえ、何らかのルールや決まりを科学から探ることはできないのでしょうか。我々ヒトが食べ物の味を理解できるのは、脳において味の情報を処理しているからです。それでは、脳での味の処理は、好き嫌いにおいて、どのような役割や働きを持っているのでしょうか。今回は、好き嫌いにつながる脳や心理の働きについて紹介したいと思います。

## 大阪大学 21世紀懐徳堂のメールマガジンに登録しませんか？

市民のみなさんを対象にした催し（社会共創事業）を月に 3～4 回程度お知らせする「21 世紀懐徳堂メールマガジン」の配信を希望される方は、**件名を「メールマガジン配信希望」として、お名前（フリガナ）とアドレス（パソコンアドレスをおすすめします）を下記へお知らせください。** ※いただいた情報は、他の目的には使用いたしません。

info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

●会場／カフェラボ（ナレッジキャピタル 1F／グランフロント大阪 北館）

●定員／各回 50 名（申込先着順）

●申込先／ナレッジキャピタル 申込フォームより <https://kc-i.jp/>

●内容の問合せ先／大阪大学 21世紀懐徳堂 TEL.06-6850-6443

●主催／大阪大学 21 世紀懐徳堂、一般社団法人ナレッジキャピタル、株式会社 KMO

EDGE コンペで阪大チームが優勝、といった成果が得られました。本講演では、Foresight Creation の方法論とはどういふものなのか、新価値創造において重要な点はどこにあるのかを解説します。

■申込方法／ナレッジキャピタル「超学校」HP から申し込みください。 <https://kc-i.jp/>



●会場／大阪大学歯学部附属病院 1 階 CAFÉ de CRIÉ（吹田 キャンパス内、吹田市山田丘 1-8）

●参加費／無料（ドリンク購入は各自）

●定員／30 名（申込先着順）

●問合せ先／大阪大学 21 世紀懐徳堂 TEL. 06-6850-6443

info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

●主催／大阪大学 21 世紀懐徳堂、大阪大学歯学部附属病院、大阪大学大学院歯学研究科

■申込方法／FAX の場合：タイトルを「第 10 回歯カフェ（口のがん）申込」または「第 11 回歯カフェ（好き嫌い）申込」とし、①お名前②フリガナ③年代④FAX 番号を明記の上、FAX.06-6850-6449 へ送信。web 申込の場合：下記申込フォームから。第 10 回 [https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2019/hacafe\\_1206](https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2019/hacafe_1206) 第 11 回 [https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2019/hacafe\\_1212](https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2019/hacafe_1212)

申込フォームはこちらから。  
大阪大学 21 世紀懐徳堂 歯カフェ 検索



大阪大学 21 世紀懐徳堂は、市民と大阪大学をつなぐ社会共創や社会貢献活動の窓口です。大阪大学の高度な研究と教育の成果、文化的資源を広く社会に還元し、また、学外からの要望を受け、大学のさまざまな活動に反映させるコーディネータの役割を果たします。大阪大学の社会共創の情報を集約し広報するとともに、大阪大学の精神的源流である「懐徳堂」で尊重された広範な分野にわたる学び合いの精神を汲み、公開講座、サイエンスカフェ、シンポジウムなどを企画・運営し、市民のみなさんと学生、教職員が出会い、能動的に学び合う場づくりを展開しています。

### 大阪大学総合学術博物館 第 13 回特別展

入場無料

サントリー第 2 代社長・佐治敏三生誕 100 周年記念展

### 大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敏三”百面相”

戦後日本の経済発展を牽引した経営者のひとりである佐治敏三（1919-1999）は、今からちょうど 100 年前に大阪で誕生しました。父・鳥井信治郎が創業した壽屋（現・サントリー）を継承し、ウイスキーブームやワインブームを巻き起こし、戦後の日本人の生活文化を創造してきました。佐治敏三は学術・文化にも造詣が深く、研究所・財団の設立や美術館・音楽ホール



会期／2019 年 10 月 25 日（金）～ 12 月 26 日（土）

開館時間／10:30～17:00（入館は 16:30 まで）

日曜・祝日休館（11 月 3 日（日）、4 日（月祝）は開館）

会場／大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館（豊中キャンパス）

主催／大阪大学共創機構産学共創本部 / 総合学術博物館 / 適塾記念センター

共催／大阪大学大学院理学研究科化学専攻

協力／尚餘会、大阪大学 21 世紀懐徳堂

特別協力／サントリーホールディングス（株）

問合せ先 / TEL. 06-6850-6284 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

### ミュージアムレクチャー

「佐治敏三と有機化学」11 月 2 日（土）

深瀬浩一（大阪大学大学院理学研究科教授）

「大阪大学の醸造学・発酵工学研究とサントリー

～ビール酵母の神泡のお話～」11 月 16 日（土）

大政健史（大阪大学大学院工学研究科教授）、金子嘉信（同特任研究員）

「ジャパニーズ・ウイスキーのレジェンド 3/4」12 月 14 日（土）

松永和浩（大阪大学共創機構産学共創本部 / 適塾記念センター准教授）

会場／大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館（豊中キャンパス）

定員 / 各 30 名（先着順・申込不要、参加費無料）

いずれも 14:00～15:30（入場受付は 30 分前から開始）

### スペシャルトーク+ワークショップ

講演「佐治敏三の企業家精神」伊木 稔（元サントリー文化財団専務理事）

ワークショップ（ビール試飲あり）

日時 / 11 月 14 日（木）17:30～19:15

会場 / 大阪大学会館アセンブリー・ホール（豊中キャンパス）

定員 / 100 名（要事前申込、参加費無料）

講演「佐治敏三と“ものづくり”」柳 謙三（元サントリー生命科学財団理事長）

ワークショップ（ビール試飲あり）

日時 / 12 月 5 日（木）17:30～19:15

会場 / 大阪大学中之島センター 10 階 佐治敏三メモリアルホール

（大阪市北区中之島 4-3-53）

定員 / 100 名（要事前申込、参加費無料）

### 【申込方法】

大阪大学総合学術博物館 HP から

[https://www.museum.osaka-u.ac.jp/cgi-bin/touroku\\_sajikeizo\\_2019\\_address.cgi](https://www.museum.osaka-u.ac.jp/cgi-bin/touroku_sajikeizo_2019_address.cgi)

※いずれもワークショップのみのご参加はご遠慮いただきます。

※ビールの試飲は 20 歳以上の方のみとさせていただきます。

大阪大学総合学術博物館 検索